



OB 会だより

国臨協 OB 会関東信越支部

平成 27 年 9 月 1 日
 発行責任者：岩村義昭
 編集責任者：三浦隆雄
 国臨協 OB 会事務局
 千葉県市川市東国分 2-1-26
 TEL：047-372-0713



2015.7.11(土) 於 アルカディア市ヶ谷

第 34 回 OB 会総会・懇親会開催

国臨協 OB 会関信支部の総会・懇親会が去る 6 月 6 日 (土) アルカディア市ヶ谷 (私学会館) において開催された。会員 40 名と国臨協関信支部・本部・技師長会の各役員の出席をえて盛大で楽しい集いであった。

総会は、まず小原会長の挨拶と平成 26 年度の経過報告からである。本会の会員が 100 名を超えたことや、会員名簿の作成、長寿の方々への記念品贈呈、OB 会文化祭などについて言及した。

ついで、各役員から会計報告、予算案、会計監査報告、新役員選出があり、それぞれ原案が承認された。また、技師長会、本部、支部役員の挨拶、新入会員紹介などで総会終了。懇親会は軍司光夫氏の乾杯の音頭で開催。しばらくは懇談会食である。今回からは始まっ

た文化祭は大変好評で、会員の趣味、仕事などが実物や写真で展示され会をいっそう盛り上げたといえよう。

懇親会後半は国見忠義氏の名司会でより楽しいものとなり、出席者全員の近況報告などがなされた。恒例の記念撮影と会員が健康で来年も元気に再開できるよう誓って閉会した。
 (副会長 藤川淳策 記)

***** 作品展 *****

今回 総会時の作品展には、書・陶芸・写真・その他種々の趣味の分野における作品を出展頂きました。日頃の精進研鑽の賜物でしょう。皆さんに楽しんでもらいました。出展者は 三橋文子、藤川淳策、並木信治、宮崎澄夫、小坂論、中田章、木下忠雄、秦政行の各氏でした。有難うございました。次回も楽しみにしております。

新会長挨拶

岩村 義昭



この度 6月6日の総会において、小原会長の後を継いで、役を受けることとなりました。もとより非力菲才の者で荷が重いのですが、会員の皆様のご支援・ご協力を頂きながら、役員一同力を合わせて、頑張っ

てまいります。

前会長のような、アイデアも企画力も無い

ところですので、次回総会時の文化祭（作品展）は引き続き行っていきたくて思っております。

会誌（OB 会だより）は会員相互の親睦を図る大事なものですので、今までどおり発行に力を注いでいきます。多くの会員の皆さんからの、ご意見・感想・作品など掲載したいと思っております。どしどし投稿頂きたいと思ひます。

向後、会の発展の為頑張りますので、重ねて会員の皆様のご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願いいたします。

会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げましてご挨拶といたします。

総会返信はがきより 近況報告 受付順・敬称略

小坂 諭：昨年9月にシルバー人材センターに登録しましたが、まだ仕事依頼が1件もありません。筋トレ、水中ウォーキング、Facebook 用の花の写真撮影を順繰りに毎日を送っています。Facebook でお会いしましょう。ボケ防止に最適です。

渋谷千春：元気に過ごしております。

月～金曜日は近くでパートとして働いており、週3回ぐらいヨガで体を動かして、太らないように努力しております。

大貫経一：昨年からオプションの脳ドックを併せて住民健診を受けることにした。

「頭部MRIで虚血性白質病変がありますが、年齢的なものなのでしょう。頭部MRAで脳動脈瘤の疑いがありますが、ようすを見ましょう」ということで、現在、薬によるコレステロールを下げること、血圧測定を毎日行っている。

下杉彰男：健康寿命を過ぎ、平均寿命にやっとなどついたら、体調不良。ままならぬものの・・・。住居は大規模修繕が可能ですが、私の身体は無理？ 静かな生活を試みています。

和田佳子：月2回ノルディックウォークを楽しんでいます。

計良秀世：年齢相応の健康ですが、最近視力の低下に不自由を感じております。実に残念乍ら趣味のゴルフも諦めました。朱鷺の声に目を覚まし、小農園と俳句や川柳を少々、楽しんでおります（日報島の文芸）

皆々様の御健康をお祈り致します。

壺屋祥三：相変わらず腰痛に悩まされています。

上原信夫：中学生剣士の指導に楽しんでいます。

永井英司：幹事ご苦労様です。相変わらず頑張っていますが、年々体の動きがスムーズに行かなくなりました。皆様によろしく。

松本はつ代：ここ一年終活という言葉が身近に感じられる程、慌ただしい日々を送っており、少々の畑の草取りや、花木の水やりにも事欠く始末です。怠惰な日常ですが、自身は元気にしております。

米屋乃夫子：お世話様です。

シルバーセンターで手仕事です。あとは、尺八とゴルフを少々の日々です。

軍司光夫：今年で看護教育50年が経過しましたが、能力（脳力）と体力に挑戦して、現在も頑張っています。



総会返信はがきより 近況報告 受付順・敬称略

佐藤蓉子：役員の皆様ご苦勞様です。

会員の方々にお逢い出来るのを楽しみにしています。よろしくお願いします。

原田武江：いつも総会・懇親会のお世話をいただき、誠にありがとうございます。

此の度私は引っ越す事になり、家中に溢れた物を片付ける事に専念していて、近所のスーパーに行くぐらいしか出来なくなっています。だから欠席します。宜しくをお願いします。

石川修子：健康であることに感謝しながら1日を大切に過ごしたいと思っています。

OB会の皆様にお会いできることを、楽しみにしております。

山田敏也：今年も数種類の苗を植えました。収穫時期が楽しみです。今回は都合により欠席させていただきます。

佐藤乙一：忙しくて 暇な生活。これが最近の私の生活事情。咲かないサツキはこりずに育っている。

(昭和40.8.1厚生省地方医務長から呼出し。「混乱している検査技師制度の整理に力を貸せ、本省にも手伝うのだゾ」のご宣託。当時の経験が生き、現在は西武学園で後輩の育成に努力。ゴ、ショウギ、マージャン、ゴルフなど一切やらない変人ではあるが、酒は飲む。)

無報酬での会務ご苦勞様です。心から感謝しています。役付きでない臨技定年退職者にも入ってもらいたいですね。

坂本 修：週1日の仕事、週2日のソフトボール、愛犬との散歩(1~2km/毎日)、家庭菜園、ガーデニングなどで日々全く不変。

斉藤信一：休日は妻共々の通院と、家事で過ぎていきます。皆様の健康を心から祈っております。

木下忠雄：専門学校で、医療技術者の卵に「医療人としての一般常識」を繙いています。

原 和子：元気で忙しくしております。

ボランティア活動として、NPO 法人「響き合いネットワーク東京、SPの会」に参加し、SP(模擬患者)として医療コミュニケーション等の勉強をしています

高野 了：1994年(H6.4.14)に退職してから21年になります。退職してからすぐ新潟県上越、下越全域の住民健診の心電図、呼吸機能検査を担当。週2日~3日でしたが、時には月~金が続く時もありました。

H10からは民生委員もやり、H13からは柏崎中央地区の会長をやらされ、検査の方はとても出来なくなり、検査の方は止めさてもらい全部やめて10年になります。

福元幸子：「あれ」「それ」の増えたこの頃ですが、元気にスポーツ、旅行を楽しんでいます。いつまで運転をするか、目下思案中です。当日は先約があり失礼します。

小林和博：町会の役員を引き受けて2年目になり、町内の行事に参加しております。

国見忠義：役員の皆様ご苦勞様です。

現在愛する妻と43歳の長男が障害者になり在宅介護と福祉サービスを受けながら、日々頑張っております。友人達と好きなゴルフと飲酒が自由に出来なくなり、少々淋しい限りです。

会員の皆様、健康が一番です。お体に気をつけてお過ごしください。

岩村義昭：週2回のボランティア、月2回の里山の整備。あとは土日の当たらない競馬の生活です。

神 ツギノ：他の会と重なり欠席することになりました。申し訳ありません。

仕事は本年度も東京医療センターで、非常勤業務を週32時間させて頂いております。

ご盛会をお祈りします。



総会返信はがきより 近況報告 受付順・敬称略

今野清子：いままでのサークル、ボランティアに加え、市のモデル事業の老若、幼、乳児の居場所作りのサロンの企画運営委員になってしまい、日々目の廻る様な忙しさです。でも元気一杯で一す。

鈴木知恵子：今年は運転免許更新なのですが、通常の手続きの外に、特別な講習が必要のようで、だんだんと面倒な年齢になってきたようです。

並木信治：2人の孫（6ヶ月女、3歳男）が4月、5月と滞在。台風が来た様な状態でした。帰りは成田まで見送り。一寸複雑な気持ち！

飛田卓也：平日は学生達と楽しみ、土・日曜日は草取りや野菜作りを楽しんでいます。

（学校と家庭の二重生活です）今年はオープンキャンパスの担当になり、OB会に出席できず残念です。皆様のご多幸を祈ります。

坂牧紀一：健康維持のための菜園を変わらず楽しんでいます。

渡辺純夫：前立腺がんが無くなり、空元気ですが何とか？元気。健康が一番。皆様から元気・健康をもらいに行きます。ご苦労様ですよろしく。

角田高枝：退職し5年目を迎えました。朝夕の犬の散歩と夏野菜の植えつけで、忙しい毎日を元気で過ごしております。

宮崎澄夫：現在、週一回の精度管理と、学校でエコーを教えております。又、年に数回撮影旅行に行っております。

宮野勝秋：相変わらず毎日元気で過ごしていますと言いたいけれど、70歳を過ぎた昨年頃より、病院通いの頻度が多くなってきました。ビデオ撮影・編集してDVDを作成していますが、BGMの収集・選曲が非常に難題です。

三浦隆雄：OB会3年目となりました。

FXも禁煙もうまくいきません。

藤川淳策：6月中旬に台湾に行ってきます。古物商（道具商）の資格有。

山本優美子：毎日自宅でのんびり過ごしております。

多田彊平：74才となると、足腰が弱くなって来ているのが痛切に感じて参りました。でも仲間と無農薬の米づくりを楽しんでいます。GW後半は田植えをやりました。筋肉痛も昨年よりひどく、才を取るとはこんなものか。でも気力だけは充分です。

大南トメ：平素は何かとお世話になりまして、有難うございます。大きな病気も無く過ごしております。

田島紹吉：神経センターでお世話になっていきます。仕事内容は検査部長の研究から、パイオバンク関係の仕事にかわりました。なんとかやっています。

奥田 勲：多少の仕事と技師会（日臨技）活動に携わりながら、日々を過ごしています。6月6日に皆様にお会いできるのを、楽しみにしております。

山崎将宏：元気でおります。新緑の候、とても良い季節でいろいろな行事が開かれ、重なってしまい、今年も失礼します。ご盛会を祈念いたしております。

吉田正勝：相変わらず、家庭菜園等で元気に過ごしております。今年から耕作面積が増え、トラクターを使い始めました。

古座野行夫：白内障で両眼を手術してから、明るい所での、遠近感が取れなくなった様な気がして、階段の登り降りが苦痛になっています。平地では朝夕歩き続けて、毎日1万歩。20年を過ぎました。

三橋文子：昨年9月より突然体重移動がスムーズに出来なくなり、色々調べましたが原因不明。医師は筋力をつけて、自分で治すしか方法がないと云います。ゴルフも習字も出来ず、ひたすら治療に専念しています。

近況報告

大館光子：お世話下さる役員の皆様に、感謝申し上げます。皆様にお逢い出来ます事を、楽しみに致しておりましたが、二月末より体調をくずしてしまいました。今年の参加は無理ですので、来年のOB会を楽しみに致しております。

皆々様に宜しくお伝えください。

古家正道：相変わらず週二日の働きで何とかやっています。

後藤真澄：変わりなく過ごしています。

高橋正雄：渋川市高齢者福祉推進委員会の、市民枠4委員の1人に選考され、委嘱式で向こう3年間、市長より辞令を交付されました。北海道庁労働局からの招請による労働審問で、臨床検査技師業務の証人に次いで、おそらく最後の公務奉仕となります。文字通りの後期高齢者、中途リタイヤしないよう、体調管理につとめています。

城山万喜治：元気で頑張っております。

秦 政行：癌を克服して、元気でテニス、ゴルフでスポーツを満喫しています。

杉澤頼昭：相変わらず介護施設で、仕事を続けています。

田上高德：九州宮崎の田舎の、田んぼや畑や山の草刈り、母親の介護と、千葉の松戸でテニスや家庭菜園と、孫の子守をして暮らしています。

福島利光：固定された日々の繰り返しですが、とにかく元気でおります。いつもお世話様ですが、これからもよろしくお願いします。

山下幸作：お陰様で今のところ、元気に暮しております。OB会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

杉崎 登：この時期は農業にとって繁忙期です。田植えを行います。皆様によろしく。

片山栄二・片山紀美代：今のところ、元気にしています。あと10年ぐらいいは大丈夫かな？

岩下浄明：毎食ごはんの前に野菜をよく噛んで食べ、運動しているせいか元気です。年々若返っています。

熊井健晴：元気にやっております。

益子満男：現在、体調管理だけの毎日ですが、何とか息災に過ごしております。皆様のご健勝の程を祈ります。

中村春木：お世話になります。現在専門学校の他に、神田外語学院と八王子市主催の研修会で医療通訳を教えています。講義の合間にオリンピックが終る迄の契約で、東京都庁の観光ガイドをしています。5月にまとまった休みをいただいたので、家内と中国に旅行に行きました。また、通訳仲間と富士山に行き、頂上まで登ることができ、お鉢めぐりと雲海に感激しました。

相賀静子：元気にしております。上京する事が少なくなりましたので、水遊びに行っております。

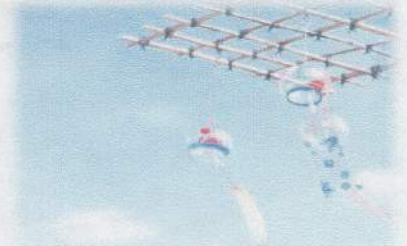
大脇佳則：親の介護をしています。

河村静枝：去年の12月にシルバーリハビリ体操指導士の二級を取得しました。ボランティアに頑張っております。

鈴木良子：シニア活動館で、シニアのためのやさしい書道、季節を感じる折り紙等に気軽に参加し、楽しんでおります。

霜田重雄：ご無沙汰しております。週2日クリニックで検査の仕事をさせて頂いております。又、孫の子守と家庭菜園で汗を流しています。OB会当日は、仕事の為欠席させて頂きます。

深澤文子：松本に住む87歳になる母が、骨粗鬆症からくる圧迫骨折をし、松本と東京を行ったり来たりしています。介護世代突入です。



近況報告

油井慎嘩：相変わらず元気で働いています。

中島 治：週の前半はスポーツジム、ボランティアと Iitaliano の勉強、後半は山仕事と家の整備作業。そして時折日曜大工。忙しい訳ではなく楽しい毎日です。

高野友丈：まだ元気です。

笹村 強：特になし。

椎津 稔：溪流釣り、陶芸、庭球などを楽しんでおります。まだ現役で働いております。頭以外はいたって健康です。

松田常次郎：本年も変わらず農作業で、汗を流しております。

大野 清：会員の皆様、ご無沙汰しております定年退官して8年目になり、「OB会だより」は貴重な情報源です。介護社会も需要が増す一方ですが、報酬の引き下げで厳しい現実です。特に若い人達に魅力ある職場環境づくりが急務と思います。勤め先で趣味とボランティアを兼ねてハーモニカ、マジック、写真を披露して喜ばれています。当日は勤務の都合で欠席いたします。

小原千秋：猫の額ほどの庭に、プランターを2〜3個おいて、野菜を作っています。きゅうり・トマト・ナス・ニガウリ等。だんだん大きくなり、そして色付いていく様に、小さな楽しみを感じています。東京での狭い我が家での、一つの生活です。

OB 会会長をバトンタッチしました。何かとご協力頂き、有難うございました。OB 会の発展を願い、また側面から応援していきたいと思っています。



会費納入のお願い

今回、会報 63 号とともに振込用紙が同封されている方は、本年度（平成 27 年度）の会費納入をお願いいたします。

平成 27 年度会費：3,000 円

7 月に開催された総会・懇親会参加の皆様は納入済です。3 年間納入がない場合は脱会とみなすこととなりますので、ご理解のほどお願いいたします。

会報原稿の募集

会報は皆様からのご寄稿により成り立っています。近況報告、身近な出来事や情報、自作のイラスト・写真・エッセイなど形式はとくに問いませんので、お気軽にお寄せください。

原稿はできるだけワード、一太郎、エクセルのいずれかで作成し、下記宛メールにて送付してください。

なお、原稿の採否につきましては役員に一任願います。

<原稿送付先>

〒272-0833

千葉県市川市東国分 2-1-26

岩村 義昭

TEL : 047-372-0713

Mail : iwanyosh@m.jcnnet.jp

今年度新しく入会された皆さんをご紹介します。お仲間として歓迎し、活躍を記念いたします。

竹下昌利氏 川畑久氏 小松和典氏

浅里功氏 菊池寿美子氏 今村ちさ氏

吉田和浩氏 近藤正氏 の各氏です。



放 談



佐藤 乙一

訪沖約 60 回に、少しづつ遠くなる

私の訪沖を丁寧に数えていた人がいた。訪沖 60 回と、一昨年の話。最初の話の事は本誌でも紹介した。沖縄も世代交代の風が吹いている。沖縄の臨床検査を語るとき古きは上里幸正氏や金城幸永氏。今はもうこの世に居ない。先輩の後を継いで今も沖臨技は光り輝いている。だが、93 歳の老人には沖縄も遠くなった。

平成 25 年 1 月の訪沖時多数の仲間の前で「これが最後かも、さようなら」と挨拶した時はグッと胸に込み上げるものがあった。浦添総合病院の中を隅々まで見回した。「訪沖最後、第二の故郷よサヨウナラ」と、今はこうして書いていても胸の熱くなるのを覚える。本音はもう一度行きたいな！

第一回訪沖 復帰 臨技国試 琉球免許対策 思い出は尽きない。敵は年齢だ、これさえなければと思う。

“永久に光り輝く沖縄臨床検査技師会

さらにご発展を祈る”

妙齡夫人のパクつき

今回もこの一節は中央線電車内のこと。立川発東京行きの電車が滑り出した。やがて国立。ドッと老若男女が乗り込んできた。丸顔 50 代程のオバサン、指定席にドカッ。バリバリとビニール袋を破ってパンを出し左右をキョロキョロ眺めながら大きな口へコッペパンをちぎっては放り込む。まあなんとおさましいこと、男女平等とはこういうことか！！

放談

軽いね、肩が！美しいね、みんなの心が！敵もいなければ味方もいない、みんな平等だ。こんな姿が国臨協関信OB会の姿なのだ。気分はいいよね。食べ物もみんなうまい。美味しいものでも心が寒ければマズクなる。「久

しぶりだな 何年振りかで出てきたのだろうか」と問えば「そうだヨ 5 年ぶり位かな」片手に満杯のビールコップを持ちながら某者と話が進む。

「佐藤さん ひとくちしゃべって」と言って今の役員の方々が引っ張り出しにきた。「僕は酒を飲んでしまってからのはしらないことにしてるんだ」と言えば『そんな理屈はここでは通らんヨ』と誰かに言われた。飲んでる人、口角泡を飛ばしてしゃべりまくっている者（私）話しているうちに、若かりし頃の誰さん〇〇さんが蘇ってきた。今年欠席した人 来年は是非ご出席を。

酒か ビールか

さっき会場の北側で女性群と話をしていたかと思えば、もう南の方で大きな皿を手に何かをほうばっている。忙しい人々だ。口は一つ業（ワザ）は 2 つ、しゃべって食う。少し下品かな そして飲む。こんな時は好きなものが自由に飲める。酒でよし、ビールでよし、ウイスキーもまたうまい。何といっても国臨協関信執行部（少し固苦しいかな）この人びとが、ああもしたい、こうもしたいといろいろ研究してきたのだろう。ありがたいネ。

司会 進行 満場一致の賛成 こんないい会議なんて珍しい。国会議員の先生方の金一封持って勉強に来ればいいのにね。きっと喜ばれるヨ。

～～会議のあるべき姿～～万歳！

こんな技術どこで習ったの？

現役中におとなしかったのは猫の皮をかぶっていたのか、キツネに騙されていたのか、順不同で小原さん・国見さん、うますぎる。あれ商売にしたらどう？職安が待っている。飲み会の司会者ピッタリだね。帝国ホテルあたりでアルバイトは如何に？

考えてみれば寂しいことも

そして現実になった。全部は書けないが、足利だ 習志野だ そして王子だと、組織統合と称して国病療はどんどん無くなっていった。そして現在は。今や国立とは名のみ、独

立行政法人といって、国家公務員の身分を振り替えたのは国公の現場職。明治から大正時代にはヒゲを貯え山高帽子をかぶり、背広を着こなしステッキを振り回しながら街中を活歩していたオジさんが官僚で昔のお役人さん。イバッテいたがこんな姿も今は昔。その一役を買い国病療に適用したのが厚生技官、いい名前だったが、それも今となれば昔話というところ。一抹の寂しさも。

もの言えば・・・

“物言えば唇寒し秋の風”戦前の大日本帝国の姿だった。今だってあるのではないか。これ どんな意味かといえは古人言っていた「人の悪口を言うとそのため災いを招く」と。人間、いや生物みんなそうだろう「他人に負けたくない」でも言い過ぎると災いは来るものらしい。天の怒りか地の罰か。庭の隅に群生するあのドクダミだって生える権利があるんだ。大・小競走して生えている。

今だから話せること

昔話になるし、少しいバリが出てきたと思ったらお許しを。臨床検査専門官という立派な肩書をもらっていたことはみんなご存知です。実はもう一つ重要な役割をもっていたのです。称して「臨床危害防止主任」といかめしい名称と職務。現職の頃「医療過誤」の話は、北は北海道から南は沖縄まで、ほとんどの県技師会等に話に行っている。国立病院院内集談会にも招かれた。ある病院ですでに解決済み院内発生事例を出され試されたことも。だが、この職名は絶対に使わなかった。このスライド約40枚、論文約40編、国公職務の知恵を地方技師会にまで。重大な異型輸血事件が東と西に発生。報道のエサになった。以上、肩書は時の厚生省。事件内容は日衛技会（今の日臨技）での実話である。

ひとりごと

国臨協関信で定年になった方の何人かには第二の人生の道を探してあげた人もいる。しかし私はそれを業としている者ではなく、あくまで一番古い者の責務といて行ってきた

し、この考えは今も不変。もう一つ無責任紹介は絶対しない。そのためには、自らその業務を体験し「適材を適所に」の考え。商売にやってるじゃないヨ。第一もうどこも満杯、私の顔もこれでおしまいかも。



平成27年度役員氏名

会長	岩村 義昭	(新任)
副会長	藤川 淳策	(新任)
事務局長	三浦 隆雄	(新任)
会計	片山 紀美代	(留任)
会計補佐	山本 優美子	(新任)
役員推薦委員長	大貫 経一	(留任)
会計監査	今野 清子	(留任)
会計監査	木下 忠雄	(新任)

相談役	小原 千秋
相談役	宮野 勝秋

第43回

国臨協関信支部学会の開催

上記についてOB会会員の皆様へ下記の通り開催案内がありました。

日時：平成27年9月12日（土）

9：30～16：20

会場：国立国際医療研究センター

国際医療協力局5F大会議室

学会テーマ：臨床検査のつながりを求めて

学会長 国臨協関信支部長 峰岸正明

編集後記



63号をお届けします。猛暑酷暑に編集後記。これからいつものように秋がやってきて、

次号は平成27年1月発行となります。新年号にふさわしい内容の原稿、写真をお待ちしています。（記 三浦隆雄）